

事例 21

タイトル： 他者との関わりが出来ず孤立していく

・ <事例の状況>

デイサービスの土地や見える山が自分の土地だと言い、他利用者が「違う」と言うと腹を立て杖で叩いたり、物を投げつける。隣家の人や柿や地面を盗んでいくと言う。デイサービスでのレクリエーション時、他者の失敗を見て興奮して歩行器を投げたり、自分もうまくいかないと機嫌が悪くなり、帰ると言って玄関から出ていく。閉じこもりがちであったので、家族は何としてもデイサービスに行きたくて欲しいと思っており、初回利用時は趣味活動の講師の設定で本人に説明して来園している。感情の起伏が激しく他利用者に攻撃的になることがあり、席や居場所に配慮が必要。興奮すると呼吸が荒くなり発作が起き、ニトロペン錠の服用が必要となる。

・ <この事例で課題と感じている点>

デイサービス内で、他者への批判や攻撃が多く、誰も寄りつかず、ひとり離れた空間で過ごすことが多く孤立していく。本人をたてると機嫌は良いが、配慮するにも限界がある。

・ <キーワード>

興奮しやすい。叩く、物を投げる。帰宅を訴える。見たままを言って、他利用者をけなす。

・ <事例概要>

【年齢】 80歳代後半

【性別】 女性

【職歴】 児童福祉施設勤務

【家族構成】 娘夫婦と同居

【認知機能】 HDS-R 7点

【要介護状態区分】 要介護3

【認知症高齢者の日常生活自立度】 a

【既往歴】 骨粗鬆症

【現病】 高血圧症 両変形性膝関節症 貧血 脳血管性認知症 心肥大

【服用薬】 内科：ニトロペン錠・アダラートCR錠・バイアスピリン錠・
メバロチン錠パナルジン錠・アイトロール錠・ロプレソール錠・
アシノンカプセル・酸化マグネシウム・メデイトランステープ
整形外科：オステラック錠・ワンアルファ錠・イサロン錠

【コミュニケーション能力】 「早く片づける」「人に背を向けるな」「泥棒」などと他利用者を注意する言葉が多い。取り繕いは上手であるが、つじつまの合わないこともある。

【性格・気質】 負けず嫌い。頑固。男勝り。プライドが高い。

【ADL】 食事は自立。排泄は誘導が必要、紙パンツ内失禁多い。入浴は着脱・洗身一部介助。移動は膝痛あり交互歩行器使用。

【障害老人自立度】 A

【生きがい・趣味】 字を書くこと。 楽器演奏。 歌をうたう。

【生活歴】 農家の長女として出生。20歳代前半で結婚し、子供2人をもうけるが、夫は戦死し20歳代後半で未亡人となる。「バカにされてはならない」と強い気持ちを持ちながら重労働や、田畑仕事もし、家族の生活を支えてきた。その後は児童福祉施設で働き資格も持った。定年後は活動的に趣味を持って楽しんでしたが、80歳を過ぎた頃から意欲がなくなり閉じこもりがちになって、定期的にデイサービスを利用するようになった。また、不定期でショートステイも利用している。

【人間関係】 はっきりした物言いで指摘、注意をするので他利用者とけんかになり、他利用者は離れていく。娘とのけんかも多い。

【本人の意向】 このまま楽しく生活していけたら良い

【事例の発生場所】 デイサービス及びショートステイ